# 糸満市市民活動支援センター
# 2011 年度
# 事業報告書

▲平成 23 年 10 月 29 日　オープニングワークショップ

**運営**
**特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく**

2012 年 3 月

# はじめに

2011 年（平成 23 年）は、3.11 東日本大震災という阪神淡路大震災をしのぐ規模の被害を出した震災のあった年でした。現在でも、多くの市民のボランティアやＮＰＯが被災地に駆けつけ災害復旧・復興に尽力しています。

また、「新しい公共」という概念のもと、沖縄県でもより市民活動のしやすい環境整備を進める新しい公共支援事業が動き出しました。さらに、ＮＰＯ法改正や新寄付税制など、市民活動をとりまく法制度も大きく変わった年でもありました。

こうした社会情勢の中、糸満市において、市民の活動をサポートしていく「市民活動支援センター」が設置が決定され、設置と運営という初年度業務に取り組まさせていただきました。10 月 29 日の小学校跡地でのオープンを皮切りに、どんな拠点を市民が求めているのかを市民の方々と考えつくる拠点づくりワークショップの開催や市民活動の相談会、スキルアップ講座、市民活動の動きを伝える広報紙、3 月には市役所ロビーでのパネル展と取り組んでまいりました。まずはセンターを知ってもらうということ、そして活発であるけれど知られていない多様な市民の活動情報を発信するということに力を入れた一年目でした。

今年、産声をあげた市民活動支援センターが、市民に頼りにされ、行政や企業など多様な主体をつなぎながら、地域づくりの拠点へと育っていくことを目指すことができればと思います。

糸満市市民活動支援センター
（管理運営／ＮＰＯ法人まちなか研究所わくわく）
センター長　　宮道　喜一

# 目次

はじめに
目次
第 1 章　ハイライト ..... 3
　1-1　2011 年度　沖縄の市民活動環境をふりかえる
　1-2　2011 年度　全国の市民活動環境をふりかえる
　1-3　糸満市市民活動支援センター　事業トピックス
　　(1)　「オープニング＆拠点づくりワークショップ」の開催
　　(2)　「市民活動スキルアップ講座」の開催
　　(3)　広報紙「日々是好日」発行
　　(4)　「市民活動相談会」の開催
　　(5)　「市民活動パネル展」の開催
　　(6)　その他
　1-4　利用実態
　1-5　フォトギャラリー2011

第 2 章　収支概要 ..... 15

第 3 章　運営について ..... 17
　3-1　事業推進体制
　3-2　スタッフ研修＆ミーティング

添付資料
　各種チラシ、関連資料

# 第１章　ハイライト

## 1－1. 2011 年度 沖縄のNPO環境をふりかえる

### 1） 新しい公共支援事業スタート

県主催「平成 23 年度新しい公共支援事業」説明会
（写真出所：県ＨＰ）

“公共”の担い手として期待されるＮＰＯ等（特定非営利活動法人、公益法人、ボランティア団体、社会福祉法人、地縁組織など）の「自立的な発展の促進のための環境整備」を進めるため、平成 22 年度補正予算で「新しい公共支援事業」(予算額 87.5 億円、事業期間 2 年)の事業が措置され、沖縄県の交付金は 1. 49 億円となった。沖縄県は、「新しい公共支援事業」の平成 23 年度の「専門家派遣支援事業」「ＮＰＯ法人等活動基盤整備事業」「寄附募集支援事業」を委託事業として公募を行い、3 団体が受託され事業を実施した。また「多様なパートナーシップ等ネットワークづくりモデル事業」では、18 団体の申請があり、6 団体が補助を受け事業を行った。

### 2） 糸満市・沖縄市・石垣市に中間支援機関設立

おきなわ市民活動支援会議
月に 1 度の定例会の様子

平成 23 年度は、糸満市の「糸満市市民活動支援センター」を含め、沖縄県内 3 市町村に市民活動やＮＰＯを支援する機関が設置された。

沖縄市には「沖縄市市民活動交流センター」が設置され、ＮＰＯ法人パソコンサポート沖縄が沖縄市から委託を受け運営を行った。また、石垣市には、沖縄県から「新し公共支援事業」の委託を受けたＮＰＯ花と緑の石垣島が「いしがきＮＰＯプラザ」を設置し運営を行っている。

沖縄県内の中間支援が集まる「おきなわ中間支援機関会議」に参加する機関も増え、県内の市民活動を支えるネットワークが広がっている。

### 3）『沖縄NPO白書～NPO法人の人と資金循環の実態～』が発行

『沖縄ＮＰＯ白書～ＮＰＯ法人の人と資金循環の実態～』
平成 24 年 3 月発行

「新しい公共の人材育成と資金循環の持続可能なしくみ構築事業共同体」が沖縄県から「新しい公共支援事業」の委託を受け『沖縄ＮＰＯ白書～ＮＰＯ法人の人と資金循環の実態～』を発行した。

沖縄県で認証を受けたＮＰＯ法人を対象にしたアンケート調査と所轄庁に公開されている平成 22 年度の事業報告書を調査しまとめ、ＮＰＯ法人の組織の意志決定や運営に関わる人の数や事業規模などＮＰＯ法人の実態を明らかにしている。

## 1－2. 2011 年度 全国のNPO環境をふりかえる

### 1） NPO法改正と認定NPO法人制度の改正

平成 23 年 6 月「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」（改正ＮＰＯ法）が成立した。今回の改正では、活動分野に「観光振興」、「農村漁村・中山間地域の振興」の追加ならびに所轄庁が条例で分野を追加できる点や内閣府認証事務を都道府県へ移管、認定機関が国税庁から都道府県へ移管などがきまったが、なかでも認定ＮＰＯ法人とほぼ同じ税の優遇が受けれる制度である「仮認定制度」が導入されたことは、この改正の中でも大きなポイントである。

また、同じく 6 月に認定ＮＰＯ法人制度の改正も行われた。認定ＮＰＯ法人の要件のひとつであるパブリックサポートテストに「年 3,000 円以上の寄付者が年平均 100 人以上」、「都道府県又は市町村の条例指定」の新しい基準が追加され、認定ＮＰＯ法人になるための要件が緩和されるとともに、認定ＮＰＯ法人等への寄付金税額控除が導入されるなど認定ＮＰＯ法人に寄付した際の寄付者のメリットが大きくなる改正となった。

### 2） NPO法人会計基準が改正NPO法に

これまでＮＰＯ法人には会計基準がなく、団体によって会計処理がばらばらで比較することができず、市民に理解されにくいという状況があった。そうした中、平成 21 年 3 月、全国のＮＰＯ支援団体による「ＮＰＯ法人会計基準協議会」が設立され、79 のＮＰＯ支援組織が参加し、平成 22 年 7 月にＮＰＯ法人会計基準として策定された。

平成 23 年 6 月に成立した改正ＮＰＯ法でも、この会計基準に則って、「収支計算書」を「活動計算書」に変えるなどの改正が行われ、ＮＰＯ法人会計基準も法改正に合わせ、11 月 20 日に改正された。

沖縄においてもＮＰＯ法人が、信頼性を向上させていく一つの基準として期待される。

（参考）みんなで使おうＮＰＯ法人会計基準　http://www.npokaikeikijun.jp/

### 3） 平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災発生 沖縄県内でも支援活動が拡がる

平成23年3月11日､マグニチュード 9.0 を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し、地震と津波、そして原発の炉心溶融という複合的かつ広範囲に及ぶ被災となった。

震災後、全国各地で被災者支援が行われ、沖縄県内でも被災者の情報、相談支援を行う「よりそい・情報支援ボランティア沖縄」や「一般社団法人つなぐ光」などの市民活動団体が設立された。また、県内各地で震災支援の募金箱の設置やチャリティーイベントなども多く開催された。

東日本大震災で沖縄県内に避難されている方は 863 人（東日本大震災復興対策本部事務局 平成 23 年 12 月 21 日付け）となっている。現地への支援も含め県内被災者への引き続きの支援が求められる。

## 1－3. 市民活動支援センター 事業トピックス

### 1）「オープニング＆拠点づくりワークショップ」の開催

【ねらい】
糸満市においてはじめてできる「市民活動支援センター」に求められる機能や空間について、想定される利用者となる市民の方々と、一緒に考えつくっていくこと。

①1 回ワークショップ

テ ー マ：つながりの豊かなまち
～つながりをつくろう～
場　　所：糸満市市民活動支援センター
日　　時：10 月 29 日（土）14:00～16:00
参加人数：30 名
備　　考：センターのオープニングセレモニーと合わせて実施

～ 第１回ＷＳ参加者の声 ～
・今までつながる場所がなかったが、あったら参加したい。
・異分野と交流ができ、自分の活動を紹介することで、次のつながりができた。
・糸満にはまだまだすごい人がいる。
・集まれば多くの知恵が出てくる。
・多くの方が糸満のことを真剣に考えて取り組んでいることがわかった。

②第 2 回ワークショップ

テ ー マ：センターをつくろう
～課題を持ち寄って～
場　　所：糸満市市民活動支援センター
日　　時：11 月 25 日（金）19：00～21：00
参加人数：6 名

～ 第２回ＷＳ参加者の声 ～
・各団体の課題がよく分かりました。同じ課題が多いと思った。
・同じ悩みを抱えている団体が多い（活動場所・予算）。
・ちょっと参加人数が少なく残念。
・それぞれのグループで意見を言い合うことが出来たので、一方的な会議より理解が深まる。

③第 3 回ワークショップ

テ ー マ：これからのセンター
～意見を出し共につくろう～
場　　所：糸満市市民活動支援センター（ｻｰｸﾙ室⑤）
日　　時：12 月 15 日（木）19：00～21：00
参加人数：9 名（うちマスコミ 1 名）

～ 第３回ＷＳ参加者の声 ～
・話しているうちにいろいろなアイデアが浮かんできて、特にセンターという場所を活用したつながり作りや資金作りのアイデアが印象に残っている。
・初年度だけでなく定期的にワークショップを行い、楽しくて効果的なことができるセンターにしたい。

## 2）「市民活動スキルアップ講座」の開催

【ねらい】
より市民を巻き込みながら、活動を広げ、成果を出していくために必要なチカラを得る。

①第１回講座／ＮＰＯってよく聞くけどなんだろう？
場　　所：糸満市市民活動支援センター（1階サークル室）
日　　時：平成 23 年 11 月 24 日（月）19：00～21：00
参加人数：8 名

②第２回講座／ＮＰＯ会計の基礎～日常業務から決算まで
場　　所：糸満市市民活動支援センター（サークル室）
日　　時：平成 23 年 12 月 22 日（木）19：00～21：00
参加人数：10 名

③第３回講座／「助成金講座」～申請時のツボを教えます
場　　所：糸満市市民活動支援センター（サークル室）
日　　時：平成 24 年 1 月 24 日（火）19：00～21：00
参加人数：11 名

④第４回講座／「広報講座」～誰に何を伝えたいですか
場　　所：糸満市市民活動支援センター（サークル室）
日　　時：平成 24 年 2 月 16 日（木）19：00～21：00
参加人数：3 名

⑤第５回講座／ＮＰＯ法人設立～法改正でどうかわる？
場　　所：糸満市市民活動支援センター（サークル室）
日　　時：平成 24 年 3 月 8 日（木）19：00～21：00
参加人数：8 名

～ 受講者の声 ～

・NPO のことがぼんやりわかりました。まだ具体的ではないのですが少し方向がぼんやりと見えた感じです。（第１回講座）
・企画書の書き方、いつも悩んでいたので 6W3H を吟味して企画をたてるというところを教えてもらえて良かった。（第３回講座）
・ターゲットごとに、言葉掛けが違い、共感を持たせる伝え方が大事だという事、とても勉強になりました（第４回講座）

### 3）広報紙「日々是好日」発行

【ねらい】
市民活動支援センターを知ってもらうこと、糸満市で活動している人・団体の情報を発信し、その活動への市民の参加を促すこと。

○発行日：隔月発行（合計３号）
- ・第１号　11 月発行
- ・第２号　２月発行
- ・第３号　３月発行

○発行部数：400 部

| □第１号内容／糸満市の市民活動の現状報告・ＮＰＯの紹介 | |
|---|---|
| １ページ | ○市民活動支援センター開所にあたっての市長挨拶の抜粋 |
| ２ページ | ○糸満市市民活動支援センターの紹介<br>○センターがとらえる市民活動とは？ |
| ３ページ | ○国内・県内・糸満市内外での NPO 法人の数<br>○ＮＰＯ法で定められている 17 のジャンルの紹介 |
| ４ページ | ○団体紹介　ハマスーキ<br>○編集後記 |

| □第２号内容／糸満市の福祉・子育ての現状 | |
|---|---|
| １ページ | ○子どもの成長を段階に分けて分類。 |
| ２・３ページ | ○子育ての課題に対して、誰がどのように支えているのか？<br>・妊娠した女性を支える<br>・未就園児とお母さんを支える<br>・放課後の子どもたちを支える<br>・母親に寄り添いともに歩む |
| ４ページ | ○団体紹介　し～あ～ぷ～<br>○編集後記 |

| □第３号内容／市民活動パネル展の報告・移転のお知らせ | |
|---|---|
| １ページ | ○パネル展の報告と移転のお知らせ。 |
| ２・３ページ | ○パネル展の様子の詳細 |
| ４ページ | ○2011 年度に行った取り組みの報告<br>○センターじゃがいも物語 |

### 4）「市民活動相談会」の開催

【ねらい】
個々の市民活動団体の相談に対し、個別に対応することによって、問題解決のための次のアクションを明確にし、相談者が動ける状態へ持っていく。

○概要
原則第２・４木曜日の午後を相談日と設定し、法人の設立や会計など、踏み込んだ専門知識の必要な相談の対応を行った。

○相談対応実績：９件

| 相談日 | 相談時間 | 相談内容 |
|---|---|---|
| 11 月 24 日(木) | 13:00～14:00 | 会計について |
| 12 月　8 日(木) | 14:00～15:00 | 法人設立について |
| 12 月 22 日(木) | 14:00～15:00 | 法人設立について |
| 1 月 10 日(木) | 16:00～17:00 | 法人設立について |
| 1 月 25 日(月) | 15:00～15:30 | 助成金申請について |
| | 15:30～16:00 | 助成金申請について |
| | 16:45～17:15 | 助成金について |
| 3 月 14 日(木) | 13:00～15:00 | 決算について、<br>助成金について |

○相談事例
事例 1）団体設立相談
　マチグヴー活性化のためのイベント構想について相談があり、実行委員会方式での進め方や社会福祉協議会ボランティアセンターなどの紹介、今後の助成金の活用について情報提供を行った。イベント実施時には、開催広報の協力や市民活動パネル展での情報発信などにつなげることができた。
事例 2）助成金申請相談から講座参加、申請へ
　メンバーの専門スキル向上（人材育成）のための研修派遣旅費補助の資金調達について相談があった。市民活動の資金源についての情報提供や市民活動スキルアップ講座（テーマ：助成金）へ参加いただくことで、次年度の助成金プログラムへの申請につながった。
事例 3）会計相談からバックオフィスサポートへ
　日常の会計処理から決算についての相談から、過去に遡っての決算については税理士事務所へ、日常の会計処理についてはNPO 法人まちなか研究所わくわくが行っているバックオフィスサポートにつなげることで、日々の活動へ注力することのできる環境を整えることができた。

### 5）「市民活動パネル展」の開催

【ねらい】
市役所ロビーという多くの人の目に触れる場所で各団体の活動を取り上げることで、地域で活躍されている市民の活動に対する理解と関心を深めるとともに、市民活動団体同士の交流や情報交換を促す。

○日　　時：3 月 21 日(水)～3 月 28 日(水)　※土日を除く
　　午前 9 時 30 分～午後 5 時（最終日は正午まで）
　　※糸満市名所百選ポストカード展と併せて開催
○場　　所：糸満市役所 1 階ロビー　市民ホール
○主　　催：糸満市、糸満市市民活動支援センター
○後　　援：糸満市教育委員会、糸満市社会福祉協議会、糸満市消防本部、糸満警察署
○参加団体：20 団体（順不同）

(特活)ワークサポートひかり※、(特活)ハマスーキ、(特活)ぽかぽか、
(特活)障がい者支援センターぴゅあ※、糸満市観光市民ガイド「友の会」、
糸満レクサークルきらら、らんなーずさぽーと企画、南山スクールガード、
イトサン(株)、米須自治会※、報得川 3 丁目夕日の会、糸満市場通り会、
「フードバンク糸満」準備会、糸満市青年団協議会、糸満市女性連合会※、
西崎ニュータウン自主防災会、要約筆記サークルいちまんかたつむりの会、
手話サークル虹の会、真栄里チャレンジ会、かみや母と子のクリニック

注 1）(特活)＝特定非営利活動法人の略、注 2）※印は物品販売もあり

○期間中来場客数：600 名
○物品販売売上点数：709 品

～ 参加者の声 ～
・自分たちの活動を多くの方に見てもらい、知ってもらえた事が嬉しい。
・これまでパネル展は何度か参加しましたが、今回のパネル展はいつもと違い、いろいろな市民活動団体と参加でき、コメントも「いいねの木」に貼りつけるといった内容が良かった。
・パネル展期間中、活動に興味のある方達と多く知り合えた

### 6）その他（糸満市市民活動支援センター　ブログの開設・運営）

・開設日：平成 23 年 9 月 20 日

・記事数：194 件

・グログ閲覧回数上位 3 ページ

1 位：閲覧数 274 回「ちむちむ市場のご案内」

2 位：閲覧数 145 回「ぼらきょうー岸田克己さん 」

3 位：閲覧数 134 回「旧糸満南小学校 」

## 1―4. 利用実態

### 1)利用者統計表

来館者数　月平均(人) 105

| 平成23年度 | H23年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開館日数 | 102 | 1 | 20 | 19 | 20 | 20 | 22 |
| **管理業務総計(人・件)** | 1488 | 48 | 211 | 347 | 230 | 272 | 380 |
| 日平均 | 14.6 | | 10.6 | 18.3 | 11.5 | 13.6 | 17.3 |
| 来館者数（単位：人） | 530 | 48 | 94 | 153 | 43 | 72 | 120 |
| 日平均 | 5.2 | 48.0 | 4.7 | 8.1 | 2.2 | 3.6 | 5.5 |
| 会議S | 348 | 36 | 56 | 112 | 20 | 45 | 79 |
| 作業S | 24 | 0 | 8 | 12 | 0 | 0 | 4 |
| 無線LAN | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| スキャナー使用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 相談 | 24 | 0 | 4 | 3 | 4 | 7 | 6 |
| 見学等 | 25 | 10 | 9 | 3 | 2 | 0 | 1 |
| 情報・依頼 | 8 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| その他 | 101 | 2 | 14 | 22 | 16 | 19 | 28 |
| 電話・FAX・メール・文書(単位:件) | 821 | | 95 | 164 | 148 | 176 | 238 |
| 日平均 | 8.0 | | 4.8 | 8.6 | 7.4 | 8.8 | 10.8 |
| 相談 | 12 | | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| 予約申込 | 57 | 0 | 15 | 11 | 12 | 10 | 9 |
| 問合せ | 40 | | 9 | 9 | 6 | 10 | 6 |
| 中央公民館 | 4 | | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| まちわく | 188 | | 17 | 69 | 35 | 36 | 31 |
| 行政 | 78 | | 13 | 4 | 14 | 29 | 18 |
| 情報・依頼 | 87 | | 5 | 14 | 24 | 28 | 16 |
| その他 | 355 | | 32 | 52 | 55 | 61 | 155 |
| 施設全体(単位:件) | 137 | | 22 | 30 | 39 | 24 | 22 |
| 施設利用 | 38 | | 7 | 11 | 15 | 3 | 2 |
| 施設問合せ | 24 | | 1 | 1 | 7 | 8 | 7 |
| 施設案内 | 32 | | 3 | 10 | 7 | 4 | 8 |
| その他 | 43 | | 11 | 8 | 10 | 9 | 5 |
| **講座等** | 148 | 48 | 24 | 32 | 33 | 3 | 8 |
| | | | | | | | |
| 講座参加者（単位：人） | 100 | 0 | 24 | 32 | 33 | 3 | 8 |
| NPOとは | 8 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 会計 | 10 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 助成金 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| 広報 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| NPO法人設立と法改正 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 拠点づくりWS参加者（単位：人） | 31 | 0 | 8 | 12 | 11 | 0 | 0 |
| 第1回 | 8 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第2回 | 10 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 第3回 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| センター外対応 | | | | | | | |
| センター外対応 | 4 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 相談 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 情報 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 3 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |

## 1―5. フォトギャラリー2011

11 月　第２回拠点ワークショップ

９月　糸満市副市長と看板設置

９月　オープニングワークショップ開催！

３月　スキルアップ講座　ＮＰＯ法人設立

12 月　センター内

１月　スキルアップ講座　助成金講座

３月　市民活動パネル展

３月
パネル展出店団体
ミーティング

12 月　第３回拠点づくりワークショップ

３月　市民活動パネル展準備

# 第2章　収支概要

## 平成23年度　糸満市市民活動支援センター収支計算書

（平成23年6月20日から平成24年3月31日まで）

| | | 金額 | | 割合（%） | 内訳 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 【経常収入】 | | | | |
| 委託料金 | | | 6,753,000 | | |
| | 経常収入　計 | | 6,753,000 | 100% | |
| | 【経常支出】 | | | | |
| 人件費 | 給与 | 3,096,000 | | | |
| | 社会保険料等 | 477,008 | 3,573,008 | 53% | |
| 事業費 | 印刷製本費 | 181,366 | | | 広報紙、パネル展、日常業務印刷、他 |
| | 事務消耗品費 | 466,980 | | | 拠点整備、事務用品 |
| | リース料 | 641,511 | | | ノートPC3台、デジカメ、コピー機、クーラー |
| | 専門スタッフ派遣費 | 400,000 | | | 相談会、ワークショップ |
| | 旅費・交通費 | 32,713 | | | スタッフ交通費 |
| | 諸謝料 | 80,000 | | | スキルアップ講座講師謝金 |
| | 会場費 | 0 | | | |
| | 機材搬入費 | 21,000 | | | クーラー設置 |
| | 新聞図書費 | 139,914 | | | 県内新聞2紙、書籍 |
| | 通信運搬費 | 142,964 | | | 電話、郵送代、インターネット接続料 |
| | 会議費 | 13,975 | | | ワークショップ・講座お茶代 |
| | 研修費 | 54,605 | | | ジョイント研修参加 |
| | 福利厚生費 | 8,502 | | | |
| | 雑費 | 898 | 2,184,428 | 32% | |
| 合計 | | | 5,757,436 | | |
| 管理費 | | | 673,993 | 10% | |
| 消費税 | | | 321,571 | 5% | |
| | 支出合計 | | 6,753,000 | 100% | |
| | 収支差額 | | 0 | | |

# 第 3 章　運営について

## 3－1. 事業推進体制

当施設運営するためのスタッフを配置した。

○市民活動支援センター事業部
　　－常勤：宮道喜一、上原千加子、大城忠、中島佐紀

○センター開館について
　　－開館時間　10:00～21:00
　　－閉館日　日・月曜日・国民の祝日・慰霊の日・12 月 29 日から 1 月 3 日

## 3－2. スタッフ研修＆ミーティング

毎月第 2・4 木曜日の午前中を定例の全体スタッフミーティングと位置づけ、市民活動支援センターで勤務するスタッフ全員が集まり、情報の共有と事業の確認及び利用者対応について話し合う場を持った。

また、以下の日程でスタッフ研修を行った。

**■研修開催日とテーマ**

第 1 回　10 月 4 日　テーマ：中間支援とは、下半期目標設定
第 2 回　12 月 26 日　テーマ：まちなか研究所わくわくのミッションとビジョン、事業の全体像を知る

2011 年 10 月 4 日研修

2011 年 12 月 26 日研修

糸満市市民活動支援センター事業

# 2011 年度事業報告書

2012 年(平成 24 年)3 月

発 行：糸満市市民活動支援センター
（管理・運営　特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく）
〒901-0361　糸満市字糸満 1736 番地（旧糸満南小学校跡地）
TEL&FAX:098-992-5828
E-mail：itoman.saposen@gmail.com